



2024-25RI 会長：フランチェスコ・アレツツォ ガバナー：坂口孝 会長：坂田幸彦 / 幹事：小林群司
 例会日：木曜日午後 12:30 会場商工センター 編集・発行：会報・会場委員会 委員長：小川忠喜

第4回(第2782回) 2025年 7月第4例会 7月24日(木)

【 ガバナー公式訪問 】

2570地区

ガバナー 坂口 孝 様

- 点鐘 / 坂田幸彦 会長
- ロータリーソング/四つのテスト 唱和
- 会長の時間 / 坂田幸彦 会長
- 幹事報告 / 小林群司 幹事

- 卓話 / 坂口孝様
- 出席状況・ニコニコ報告
- 点鐘 / 坂田幸彦 会長

司会進行：大谷 会員

○点 鐘 坂田幸彦会長

会長の時間 / 坂田幸彦会長



2025 年度 第4回例会 会長挨拶

今日はガバナー公式訪問例会です。坂口 孝ガバナー
 ようこそお越し下さいました。

ありがとうございます。例会に先立ちまして入会年数
 の浅い会員との懇談会を行いました。

また例会終了後にはクラブ協議会を予定していますガバ
 ナーを囲んで会長・幹事・統括委員長・そして委員長が
 出席対象者となっておりますので対象者は例会終了後も

この場でお待ちください。あえて会場を変えずに同じ会場で開催しオープンな雰囲気を作りたかったのと、誰
 でも耳を傾ければ聴こえる状況を狙ったのですが、良かったかどうかは後日評価を頂ければと思います。坂口ガバ
 ナーどうぞよろしくお願いします。

さてロータリーの友の6月号に元文化庁長官の近藤誠一さんの文章が掲載されておりました。タイトルは文明と
 文化～平和な社会のための役割 です。近藤誠一さんは「文化を日本の外交の中心に置くべき」と言い続け文化外
 交をしてきた人です。本年度「届け平和へのメッセージ まごころと思いやりで結ぶロータリー」と言う私の考
 えとピッタリな内容でしたので改めて紹介させていただきます。

今われわれは大きな危機、様々な問題に直面しています。地球環境の悪化と気候変動、人間同士の争い、1つ間
 違えば核戦争もあり得ない事ではない。世界平和と言えばドイツの哲学者が「永遠平和のために」と言う著書で
 戦いが行われるたびに結局うまく收拾できず、妥協を積み重ねていくうちに、平和的な法的関係にたどり着くか

ら、国家は共和制が、国際関係は連合性が望ましいと言っています。

共和制国家、あるいは民主的な国家はたくさんあります。また1945年には国際連合が出来ました。そして戦争はもう起こらないはずだったのが、まだ平和は程遠い。そしてユネスコ(国連教育科学文化機関)が出来て戦争の危機を感じた人が「ユネスコ懸章」の前文で「戦争は人の心の中に生まれる物であるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」とあります。簡単に言えば政治的な利益、経済的な利益が一致している時はいいけれども、民族間の恨みとか、個人的な欲望、権力の欲望、そういったものが表に出るとルールは機能しなくなる。だから人のこころ、そのものを連帯させる、文化のため、教育のため、一緒に何かをやっている、お互いにいいものを得られる。その結果として「世界遺産」という制度が出来たんですね。天災や地域紛争があっても力を合わせて文化は守りましょう。それが世界遺産条約です。

人の大脳を見ていくと一番奥にある古皮質、原始脳と言われる部分とはにかく自分を守る、食べる、子孫を残す、敵をやっつける、その後に発達した一番外側の新皮質というところに理性、連帯、道徳という高度な精神活動を司る機能ができましたそれが文明をつくったわけです。一方で原始的な脳が残ったから人間は生き残ったわけですね。

ミラーニューロンと言う新しい脳の神経細胞が発見されました。これは他人の行動を自分で行っているかのように感じる能力を司っている細胞だそうです。その体験によって相手の気持ちに近づくことが出来る。共感して、相手の立場に立って、気持ちをおもんばかることが出来る。この素晴らしい能力を人間は約200万年前から40万年前の間につくり上げたんだそうです。ゴリラのお母さんは3年、あかちゃんを抱っこしているそうですが、

文化・芸術は地域のアイデンティティの確立にも重要ですし、自然に対する共感感覚的に人間は1歳で離れ、すると泣くので子守歌が出来たそうです。子守歌は歌や踊り、祭りへと発展し大人同士の共感力を増すのに貢献をしたということです。今、分断の時代と言われますが、

ユネスコが文化を中心として連帯しようと言ったのは、まさに我々の先祖が実行していたことです。文化・芸術・音楽によって育まれた高い共感力は極めて有効です。文化・芸術による教育が引いては社会の連帯力、戦争防止にもつながる訳です。自然の摂理に従おうという気持ちになるのではないのでしょうか。

日本の文化の特長は「自然との一体感」「あいまいさの受容」「目に見えないものの価値の認識」「自己抑制、慎み、全体の中の個」にあると思います。

自然にはない幾何学的な造形美を表すヨーロッパの庭園に対し、日本庭園は自然を模した形式が発展しました。日本人はなるべく自然の流れに従おうという意識が本性として宿っているから、あいまいさを受容し、白か黒か決めることは嫌う、人間には常に善と悪の両方があると。明治以降入ってきた西洋の価値観から見れば、古いと言われるかもしれませんが、日本人の特長であり、自然との一体感を示すいい例だと思います。

こうした日本文化をもっと世界に広げていければ、平和へ貢献するのではないのでしょうか。

文明をどう使うかは人間によります、文明の負の側面を解決するのは、専門的な知識やテクノロジーではなく、共感力をもった文化の力です。それが広がることで世界平和は決して夢ではなくなると思います。

イギリスの政治家ウィンストン・チャーチルは楽観主義者はあらゆる問題の中に好機を見つける。と言っていますが、一方 悲観主義者はあらゆる好機の中に問題を見つけると言ってます。今の日本人はどうやら悲観主義者で、チャンスがたくさんありながら、問題を見つけて止めてしまう。日本人、日本文化には素晴らしい潜在能力があり、世界に貢献出来るものがありながら伝えきれていないようです。文明の副作用に苦しんでいる時こそ、日本文化を広める好機だと思います。



出席状況



正会員数	52名
出席者	36名
出席率	69%
ニコニコ報告	14,000円

出席奨励・スマイル斎藤浩二委員長

- 坂田会長/ガバナー坂口孝様、渡邊藤男ガバナー補佐様、川越RC近藤武弘様、本日はありがとうございました。
- 小林群司幹事/坂口ガバナー、渡邊ガバナー補佐、近藤副幹事、ようこそ行田RCへ。坂口ガバナー、卓話よろしくお願いします。
- 大谷会員/坂口ガバナー行田へようこそ！健康に留意され、充実の一年間をお過ごし下さい！！
- 清水会員/坂口ガバナーようこそ行田へ。今日は宜しく願いいたします。
- 野口会員/坂口ガバナー、本日はよろしくお願いします。
- 山本憲作会員/本日はガバナー訪問ありがとうございます。
- 横田会員/ガバナー、ようこそ行田ロータリーへお越し下さいました。本日は宜しく願い致します。
- 川越RC近藤武弘様/本日は宜しく願いします。



本日の司会 大谷会員



